令和６年４月吉日

正会員 各位

東京都港区赤坂七丁目 10 番６号
一般社団法人　保険乗合代理店協会
代表理事　　水野　明

令和６年度定時社員総会の招集通知

拝啓　時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
さて、弊協会の令和６年度定時社員総会を以下のとおり開催いたします。
弊協会定款第 15 条乃至第 18 条に則り、議決権を有する正会員各位に本状を郵送いたします。
準会員、パートナー会員、アドバイザー会員、特別会員各位へはその写しのメール配信をもってご連絡並びに議案内容の共有とさせていただいております。
なお、本議案中には、定足数の出席を要する議案がございますので、お手数ながらご欠席の場合は、同封の委任状に必要事項をご記入、押印の上、５月２日（木）までにご返送くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

１．日　　時　令和６年５月 16 日（木曜日）午後２時半開場
午後３時開会

２．場　　所　TKP ガーデンシティ premium 神保町
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-22　テラススクエア３階
http://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gcp-jimbocho/access/

3.　報告事項　報告事項１　令和５年度活動報告の件
報告事項２　令和６年度活動計画の件
報告事項３　令和６年度収支予算の件

決議事項　決議事項１　令和５年度決算承認の件
決議事項２　理事･監事選任の件

新年度を迎えるにあたり

＜ごあいさつ＞

世界はコロナの猛威がようやく収まりましたが、ウクライナ戦争やイスラエルパレスチナ紛争といった地政学リスク、地球沸騰化による気候変動リスクなどが新たな脅威となっております。また日本では１月１日に能登半島地震が発生しました。今後も気候変動による災害リスクの拡大も懸念されています。

そんな中、日本経済は政府が提唱してきた「貯蓄から投資に」というキャッチコピーが着実に浸透しはじめました。今年から新ＮＩＳＡも始まり、日経平均株価が 35 年ぶりにバブル期の最高値を更新しました。

保険業界に目を向けますと損保業界は「ビッグモーター問題」と「カルテル」で世間を騒がせており国民の信用を取り戻すにはまだ時間がかかりそうです。

乗合代理店業界は生命保険協会主催の「代理店業務品質評価制度」の第 2 回審議会が終了し、42 社が新たに認定され第 1 回目の 42 社と合わせて 84 社が認定代理店となっております。
全体の代理店数からみると 0.3%ですが、84 社に所属する募集人は全体の約 10%、つまり 10 人に１人が認定代理店に所属していることになり、今後もさらにシェアが高まっていくでしょう。

保代協として基本的に年 6 回（奇数月）の勉強会を開催しております。当日は生産性や募集品質をテーマとした委員会と会員全員が参加する定例会が基本で、ともにオンライン参加もできることから東京以外からの参加が可能となり皆で研鑽して成長することができます。
そして会員全員で「保険」の必要性やこの仕事の魅力を若者たちに伝え、この業界に誇りとやりがいをもって参画できるように、共に進化しながら活動していきましょう！

最後に保代協は今後とも、金融庁、財務局、生命保険協会、日本代協と連携し、乗合代理店業界の健全な発展のために尽力していく所存です。

一般社団法人 保険乗合代理店協会
代表理事　水野　明

報告事項１　令和５年度活動報告の件

【協会スローガン】

> 顧客本位の業務運営を徹底し、乗合保険代理店を健全な業界にするとともに、消費者や社会から信頼される業界に発展させていこう。
>
> ～乗合保険代理店健全化のために有益な情報提供と啓蒙活動を推進し、業界全体の業務品質向上を追求し続けます～

【令和５年度取組み】

（1）会員の満足度向上

① 生命保険協会主催「業務品質評価運営」への協力
② 会員ニーズの把握のためアンケートの実施
③ 活動趣旨啓蒙の強化
④ 定例会等のリモート参加

（2）協会に相応しい体制の確立

① ホームページの活性化
② 生保協会、日本代協、ファイナンシャル・アドバイザー協会、損保労連との連携強化
③ 金融庁、財務局、政界とのコミュニケーション継続

（3）会員拡大委員会

① インボイス制度、生命保険協会「代理店業務運営品質」全国５か所のセミナー実施
② 非会員の企業にオンラインで定例会にご参加いただき、全国の代理店に情報提供を拡大

（4）顧客本位の業務運営向上のための委員会の充実

① 募集品質向上委員会、生産性向上委員会の継続

イ) 合同委員会形式を継続
委員会は活発なディスカッションを促すため会員のみの参加に限定

ロ) 令和５年度の活動

■ 募集品質向上委員会
生命保険協会の「業務品質評価運営」への取り組みを中心に、保険会社の顧客情報に関するシステム面での課題等について委員会を開催した。
「業務品質評価運営」に関しては、審査項目の細部に関し、項目の捉え方や、認定代理店が使用しているツールについての共有も行った。
業務品質評価をクリアする観点でも、顧客アフターフォローを行ううえでも重要となる、顧客データ、契約データに関する課題を共有した。

■ 生産性向上委員会

トレーニングや見込客リーズの現状に関する各社の取り組みに関し委員会を開催した。

トレーニングに関しては各社で行っている内容に関し、どの階層にどのような内容で、どの程度の頻度で行っているか共有した。

リーズに関しては、アドバイザー会員にも情報を提供いただき、昨今の状況を共有した。

【組織】（令和５年度）

理事会	堀井名誉理事長、水野理事長、勝本副理事長、富永副理事長、皆川副理事長 三浦理事、足立理事、黒河理事、小坂理事、鳥潟理事、小林理事 滝本顧問、成島参与、長坂監事、松村シニアアドバイザー
事務局	三浦理事事務局長、黒河理事、池田代理
募集品質向上委員会	富永委員長、勝本副委員長
生産性向上委員会	皆川委員長、足立副委員長、小林副委員長
会員拡大委員会	鳥潟委員長、小坂副委員長

【定例会】

① 令和５年05月11日(木) 第85回定例会
② 令和５年07月06日(木) 第86回定例会
③ 令和５年09月08日(金) 第87回定例会
④ 令和５年11月16日(木) 第88回定例会
⑤ 令和６年01月18日(木) 第89回定例会
⑥ 令和６年03月14日(木) 第90回定例会

＜令和５年度 定例会メインテーマ＞

５月	基調講演 「"顧客本位の業務運営"の推進について」 生命保険協会代理店業務品質検討ワーキング・グループ座長 濱田義博氏
７月	営業パーソンへの育成メソッド大公開
９月	優績者パネルディスカッション
11月	「業務品質評価運営」2期目の審査における好取組事例 生命保険協会代理店業務品質検討ワーキング・グループ座長 濱田義博氏
１月	パネルディスカッション「代理店業界の展望」
３月	３期目を迎える業務品質評価運営 パネルディスカッション「2期目認定代理店」

【理事会】12回

第一四半期	４月12日、５月11日、６月17日
第二四半期	７月20日、８月16日、９月７日
第三四半期	10月５日、11月９日、12月14日
第四四半期	１月18日、２月８日、３月８日

【新規会員】

令和５年度 新規入会会社一覧（順不同）

	会員種別	会員名
(1)	正会員	マニュライフ・ファイナンシャル・アドバイザーズ株式会社
(2)	正会員	株式会社保険ひろば
(3)	準会員(大規模)	ほけんの窓口グループ株式会社
(4)	特別会員	RGA リインシュアランスカンパニー
(5)	特別会員	株式会社査定コンサルティング
(6)	アドバイザー会員	株式会社エフアンドエム
(7)	アドバイザー会員	株式会社アドアニモ
(8)	アドバイザー会員	株式会社クローバー・ネットワーク・コム
(9)	アドバイザー会員	ソフトバンク株式会社

年度	新規 入会社数	内訳
令和元年度	14	正会員：2 準会員：7 アドバイザー会員：5
令和２年度	9	正会員：3 特別会員：1 アドバイザー会員：5
令和３年度	12	正会員：1 準会員：3 特別会員：2 アドバイザー会員：6
令和４年度	15	正会員：4 準会員：3 特別会員：1 アドバイザー会員：7
令和５年度	9	正会員：2 準会員：1 特別会員：2 アドバイザー会員：4

報告事項２　令和６年度活動計画の件

【スローガン】

代理店の業務品質を高度化させ、乗合保険代理店業界の健全な発展に貢献する

【令和６年度取組み】

（1）会員への満足度向上

① 生命保険協会主催「業務品質評価運営」への協力

② 会員アンケートに基づく定例会の開催

③ 活動趣旨啓蒙の強化

（2）協会に相応しい体制の確立

① 生保協会、日本代協、ファイナンシャル・アドバイザー協会、損保労連との連携強化

② 金融庁、財務局、政界とのコミュニケーション継続

（3）会員拡大への取り組み強化

広域でのセミナー開催による情報提供の実施

（4）顧客本位の業務運営向上のための委員会の充実

募集品質向上委員会、生産性向上委員会を統合し、代理店経営研究委員会とする

イ)　委員会は活発なディスカッションを促すため会員のみの参加に限定

ロ)　令和６年度のテーマ

・業務品質評価運営も開始後２年が経過し、代理店経営にとってますます重要課題となる「代理店業務品質」の適切な対応と、代理店にとっての顧客情報や契約情報等情報管理のあり方について議論する

・ターゲット型外貨建て保険などの乗換契約に対する金融行政の指摘を踏まえ、そういった保険の取扱について、IFAビジネスとの整合性についても検討を行う

・個々の生産性を上げるために、今代理店は何をすべきか、どのような課題があるのかを模索し、将来に向けて安定した収益を確保するための情報交換の場とする

第１回：R6.7.18(木)　「代理店業務品質やデータ管理について」

第２回：R6.9.19(木)　「特定保険契約とアフターフォローについて」

第３回：R6.11.14(木)　「ターゲット型外貨建て保険などの取扱いについて」

第４回：R6.1.16(木)　「マーケット開拓と提携ビジネス」

第５回：R6.3.13（木）　未定

※テーマは変更になる可能性があります

ハ)　開催日時（定例会と同日）　13:00～14:30

【組織（案）】（令和６年度）※社員総会後、理事会にて選出

理事会	堀井名誉理事長、水野理事長、勝本副理事長、富永副理事長、皆川副理事長 鳥潟副理事長、三浦理事、足立理事、黒河理事、小林理事、池田理事、西浦理事 滝本顧問、成島参与、長坂監事、松村シニアアドバイザー
事務局	三浦理事事務局長、黒河理事、池田理事
代理店経営研究委員会	富永委員長、皆川副委員長、小林副委員長、足立副委員長、西浦副委員長
会員拡大委員会	鳥潟委員長、三浦副委員長

＜令和６年度　社員総会・定例会・理事会開催予定＞

＜令和６年度 定例会メインテーマ＞

５月	金融庁　保険代理店モニタリング実施を受けて 以下、７月・９月・１１月・１月・３月については、その時期の現況を鑑み、 理事会にて適切なメインテーマを決定する。 （リアルとオンラインにて実施）

■理事会

第一四半期	４月 17 日、５月 15 日、６月 19 日
第二四半期	７月 17 日、８月 14 日、９月 18 日
第三四半期	10 月 16 日、11 月 13 日、12 月 18 日
第四四半期	１月 15 日、２月 12 日、３月 12 日

報告事項３ 令和６年度収支予算の件

【収入の部】会費収入予算額は期始の会員からの入金額で表示

項目		令和６年度 予算額（円）	令和５年度 入金額（円）	備考 令和６年度 期始会員数
前期繰越金		18,492,443	18,209,236	
会費収入	正会員	9,200,000	9,200,000	46
	準会員（大規模）	2,760,000	2,640,000	23
	準会員(大規模以外)	1,140,000	1,140,000	19
	特別会員	5,400,000	5,200,000	27
	アドバイザー会員	2,220,000	1,980,000	37
	パートナー会員	180,000	180,000	3
	入会金	0	300,000	
	会費収入等計	20,900,000	20,640,000	
その他収入（受取利息等）		84	84	
収入の部合計		39,392,527	38,849,320	

【支出の部】　注）今年度予算について：令和５年度収支実績は正味財産増減計算書に記載

項目		令和６年度予算（円）	令和５年度実績（円）	備考
本部		8,200,000	7,140,182	役員交通費、家賃、HP 管理 手数料、水道光熱費、業務委託 名刺交換会費用
顧問料		5,200,000	5,066,303	士業関連
会議室		4,000,000	3,507,958	会議室借料等
事務費小計		17,400,000	15,714,443	
委員会活動費	会員拡大	2,400,000	2,146,930	交通費、会場費、交際費
	委員会	500,000	0	交通費、会場費、交際費
WEB･印刷費		700,000	679,342	
研究活動費		240,000	240,000	ロビー活動、交通費、交際費
講演料		2,000,000	508,502	
広報費		1,200,000	720,500	
事業費合計		7,040,000	4,295,274	
法人都民税		70,000	70,000	
源泉所得税		300,000	277,160	
支出の部合計		24,810,000	20,356,877	
予備費/次年度繰越金		14,582,527	18,492,443	
総合計		39,392,527	38,849,320	

議案書（決議事項）

第１号議案　令和５年度決算承認の件

1. 令和５年度決算の承認について
　定款第 40 条第１項の規定により、本総会の承認を得るものであります。

2. 内容
　別紙のとおりです。

財務諸表に対する注記

１．重要な会計方針
　消費税等の会計処理については、税込処理を採用している。
２．会計方針の変更
　該当なし
３．基本財産及び特定財産の増減額及びその残高
　該当なし
４．基本財産及び特定財産の財源等の内訳
　該当なし
５．担保に供している資産
　該当なし
６．固定資産も取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
　該当なし
７．債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
　該当なし
８．保証債務等の偶発債務
　該当なし
９．満期保有目的債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
　該当なし
10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
　該当なし
11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
　該当なし

貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

一般社団法人　保険乗合代理店協会　　(単位:円)

科　　目	当年度	前年度	増減
Ⅰ　資産の部			
1. 流動資産			
現　　金　　預　　金	18,562,877	17,177,470	1,385,407
流動資産合計	18,562,877	17,177,470	1,385,407
2. 固定資産			
その他固定資産			
差　　入　　保　　証　　金	1,102,200	1,102,200	－
その他固定資産合計	1,102,200	1,102,200	－
固定資産合計	1,102,200	1,102,200	－
資産合計	19,665,077	18,279,670	1,385,407
Ⅱ　負債の部			
1. 流動負債			
未　　払　　費　　用	9,174	9,174	－
預　　り　　金	61,260	61,260	－
流動負債合計	70,434	70,434	－
負債合計	70,434	70,434	－
Ⅲ　正味財産の部			
1. 一般正味財産			
(1)一般正味財産	19,594,643	18,209,236	1,385,407
一般正味財産合計	19,594,643	18,209,236	1,385,407
正味財産合計	19,594,643	18,209,236	1,385,407
負債及び正味財産合計	19,665,077	18,279,670	1,385,407

正味財産増減計算書

自　令和 5年 4月 1日
至　令和 6年 3月31日

一般社団法人　保険乗合代理店協会　　（単位:円）

科　　目	当年度	前年度	増減
Ⅰ一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
受取入会金及び受取会費	20,858,880	20,940,000	-81,120
受取入会金及び受取会費	20,858,880	20,940,000	-81,120
受取寄付金	-	-	-
受取寄付金	-	-	-
雑収入	84	95	-11
受取利息	84	95	-11
経常収益計	20,858,964	20,940,095	-81,131
(2)経常費用			
事業費	393,982	532,609	-138,627
WEB・ML等運営費	153,982	332,609	-178,627
研究活動費	240,000	200,000	40,000
管理費	19,009,575	18,594,088	415,487
事務費	19,009,575	18,594,088	415,487
経常費用計	19,403,557	19,126,697	276,860
当期経常増減額	1,455,407	1,813,398	-357,991
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	-	-	-
(2)経常外費用			
経常外費用計	-	-	-
当期経常外増減額	1,455,407	1,813,398	-357,991
税引前当期一般正味財産増減額	1,455,407	1,813,398	-357,991
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	-
当期一般正味財産増減額	1,385,407	1,743,398	-357,991
一般正味財産期首残高	18,209,236	16,465,838	1,743,398
一般正味財産期末残高	19,594,643	18,209,236	1,385,407
Ⅱ指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	-	-	-
指定正味財産期首残高	-	-	-
指定正味財産期末残高	-	-	-
Ⅲ正味財産期末残高	19,594,643	18,209,236	1,385,407

監 査 報 告 書

当法人の監事である長坂誠司は、令和５年４月１日から令和６年３月31日までの第11期事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

監査の方法及びその内容

監事は、理事と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに理事会その他重要な会議に出席し、理事からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和６年４月17日

一般社団法人 保険乗合代理店協会

監事　長坂誠司 長坂 ㊞

第２号議案 理事選任の件

本社員総会終結の時を以って理事８名の任期が満了することと併せ、以下８名の重任および、新任の理事２名を選任します。理事、小坂直之氏は退任となります。
なお、当該理事の任期は、定款 25 条各号の規定により任期満了時までとします。

１．理事選任の件 理事候補者

（重任）

氏名	所属会社・役職等
堀井 計	株式会社ホロスプランニング 代表取締役会長
水野 明	株式会社ソニックジャパン 代表取締役社長
勝本 竜二	株式会社アイリックコーポレーション 代表取締役社長 CEO
皆川 史樹	株式会社ライフアシスト 代表取締役
富永 辰人	エフピーサポート株式会社 代表取締役副社長
足立 哲真	R&C 株式会社 代表取締役
鳥潟 英城	ファイナンシャルアライアンス株式会社 代表取締役社長
小林 徹也	株式会社アイ・ティ・コンサルティング 専務取締役

（新任）

氏名	所属会社・役職等
池田 剛	ファイナンシャルジャパン株式会社 代表取締役社長
西浦 伸明	ライフマイスター株式会社 代表取締役社長

（退任）

氏名	所属会社・役職等
小坂 直之	ファイナンシャルジャパン株式会社 代表取締役社長

以 上